



## Asian Productivity Organization "The APO in the News"

Name of publication: Junkan Keizai Shimbun (23 July 2018, Japan)

Page: 6

**アジア生産性機構 AI技術等が生産性向上に 専門家が見解を示す**

アジア生産性機構（局長）は7月10日、東京で第一回目となる「持続可能な生産性サミット」を開催し、加盟各国から多くの参加者を集めた。AI（人工知能）技術の活用や次世代超高速移動システムの導入、キャッシュレス社会の発展などについて

専門家が見解を示した。ウィリアム・D・エガース氏 (Deloitte Center for Government Insights エグゼクティブディレクター) は、AI技術が生産性向上に欠かせない要素となっていることを説明した。一方で、政府の規制が民間企業の先端技術の開発スピードに追いついていない点を挙げ、「政府も変化に対応していかないといけない」と指摘した。

ライアン・ジャンツェン氏 (TransPod社CTO) は、輸送効率化が生産性向上に貢献するとして、開発中の次世代超高速移動システム「ハイパーloop」を紹介した。

ニコラス・アルビドシオン博士 (スウェーデン王立工科大学産業界・経営学部准教授) は、国内の現金の使用状況を説明した。2007年12月にピークを迎え、商店によっては現金を受け付けないところもあるという。

サミットの冒頭にサントンティ・カノクタナポーン事務局長は「今日学んだことを持ち帰り、国・組織でどのように影響するか検討してほしい」と述べた。

参加者に対してあいさつするサントンティ・カノクタナポーン事務局長

（APO、サントンティ・カノクタナポーン事務局長）は7月10日、東京で第一回目となる「持続可能な生産性サミット」を開催し、加盟各国から多くの参加者を集めた。AI（人工知能）技術の活用や次世代超高速移動システムの導入、キャッシュレス社会の発展などについて